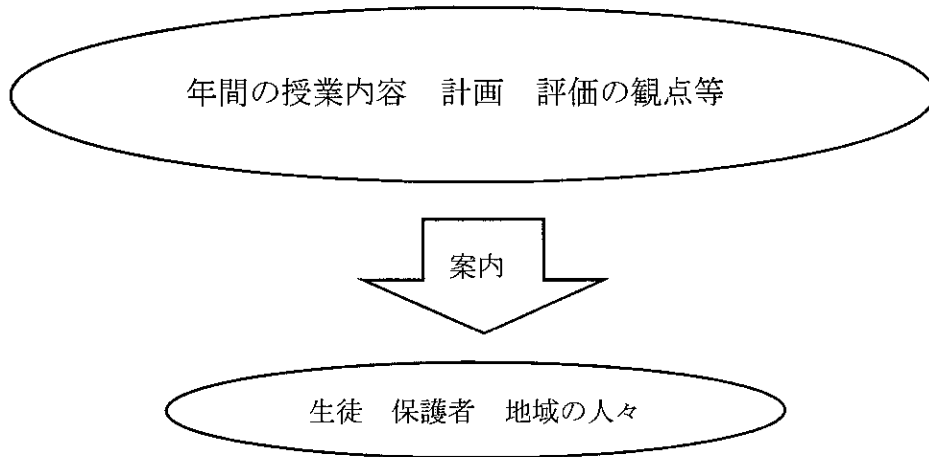


「学習案内」とは何か？



学習案内とは、学校で行われる授業などの年間の学習内容であり、教科の目標、内容、使用教材、学習計画、学習上のアドバイス、評価方法などをまとめたものです。これから、何を何のために、いつ、どのように学ぶかを知らせるものです。

学校として年間指導計画を保護者や生徒に示すことで、生徒の皆さんがこの1年間でどんなことを学習するのかがわかり、学習計画を立てる上で役に立ち、より意欲的に学習に取り組むための手助けとなります。また、各単元（章）ごとのねらいが前もってわかることで、生徒が何を頑張ればよいか、具体的に目当てをもつことができます。保護者にとってもお子様との対話のきっかけになります。学習を進める上で十分にご活用ください。

国語科 第1学年

1 目標

- (1) 自分の意見や考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり、聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てよう。
- (2) 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高め、進んで書き表そうとする態度を育てよう。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高め、さらに読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げよう。

2 学習計画と内容

学期	学習内容 (単元名・教材名・学習材など)	学習を進めるうえでのアドバイス
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ふしぎ ・桜蝶 ・自分の脳を知っていますか ・言葉の単位、文の成分【知識・理解】 ・書写【知識・理解】 ・漢字の部首【知識・理解】 ・日本語の音声【知識・理解】 ・お気に入りの一品を紹介する ・オツベルと象 ・ベンチ ・すべては編集されている 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文で使われている言葉を理解し、文章全体の要旨をとらえよう。 ・説明文の構成を考え、的確に情報を読み取ろう。 ・詩の表現技法や特徴を理解しよう。 ・書き方の基本を理解し、工夫した文章を書こう。 ・他人の意見を聞き、自分の考えとの共通点・相違点を整理しよう。 <p>知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形を整え、筆順の原則を理解して、正しい筆順で、字形を確かめて書こう。 ・漢字の部首についての理解を深めよう。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・森には魔法使いがいる ・河童と蛙 ・漢字の音と訓【知識・理解】 ・根拠を明確にして意見文を書く ・昔話と古典 箱に入った桃太郎【知識・理解】 ・竹取物語 ・故事成語【知識・理解】 ・書写【知識・理解】 ・単語のいろいろ I【知識・理解】 ・蜘蛛の糸 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係性に注意して読もう。 ・作品の背景や当時の状況を知り、自分の考えを持とう。 ・相手や目的に応じてわかりやすく書けるようになろう。 <p>知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の内容と自分たちのものの見方や感じ方の共通点や相違点を考えよう。 ・字の形に注意して整った字を書こう。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利 ・単語のいろいろ II【知識・理解】 ・言葉がなくなぐ世界遺産 ・少年の日の思い出 ・熟語の構成【知識・理解】 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者や主人公の気持ちを考えながら、内容を読み進め、自分の考えをもとう。 ・文章の構成や展開に注意して読もう。 ・図表を用いて説明をする文章を書こう。 <p>知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語とは何かを整理して理解しよう。

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

	観 点	評価の資料
①	知識・技能	漢字・語句・文法・古典に関する知識・書写の実技作品
②	思考・判断・表現	スピーチや発表・発言の内容・聞き取り 感想文・意見文等 授業中のノート等の表現・内容等・テストなど
③	主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・発言・課題設定への意欲・ノート等内容・提出物の状況など

社会科 第1学年

- 1 目標 (1) 歴史に対する関心を高め、近世までの日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を捉えよう。
 (2) 地理に対する関心を高め、地図の見方、世界の国々、日本の各地域について、理解しよう。
 (3) 地図やグラフ、統計資料、年表、歴史資料などを活用したり、作成したりする力を育てよう。

2 学習計画と内容

学期	単元名・教材名	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	【地理的分野】 第1編 第1章 「世界の姿」	地球儀の活用。緯度の違いと気温の変化。経度の違いと標準時。地球儀と世界地図。6大陸と3大洋。世界の略地図が描ける。国々の位置や名称に慣れ親しむ。	緯度や経度について理解しよう。 大陸と海洋の形状や分布、名称、その位置関係を理解し、略地図を描こう。 さまざまな国の名や形、位置を地図を使って身につけよう。
	第1編 第2章 「日本の姿」	日本の位置と、領域の特色。各国の標準時と時差。各都道府県の名称と位置。日本の地域分け。	日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を学び、日本の地域構成を大まかにとらえよう。
	第2編 第1章 「世界各地の人々の生活と環境」	雪と氷の中で暮らす人々。寒暖の差が激し土地に暮らす人々。温暖な土地に暮らす人々。乾燥した土地に暮らす人々。常夏の島で暮らす人々。山に暮らす人々。世界の気候区分。人々の生活に根差す宗教。	地球上のそれぞれの地域で、様々な環境にあわせて、人々がどのように生活の工夫をし、文化を作り上げていったのかを調べよう。
	【歴史的分野】 第1章 「歴史へのとびら」	小学校で学習した人物の復習。時代区分。西暦年。世紀。	時代の表し方を確実に身につけよう。
	第2章 「古代までの日本」	人類の進化。古代文明。縄文、弥生時代。古墳文化を大陸とのつながり。埼玉古墳。聖徳太子と大化の改新。古代国家の仕組み。奈良時代の農民の生活。遣唐使。天平文化。平安京と摂関政治。国風文化。	人類の出現や古代文明の特色、日本列島における人々の生活の変化について学ぼう。 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した日本の歴史の大きな流れをとらえよう。
2	【地理的分野】 第1編 第3章 「世界の諸地域」	アジアの人口。ヨーロッパの統合。アフリカの産業と貿易。北アメリカの多様な民族。南アメリカの環境問題。オセアニア州の文化。	世界の諸地域の地域的特色を、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の様子を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しよう。
	第1編 第4章 「世界の様々な地域の調査」	世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げてレポートを作成する。	世界の様々な地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しよう。
3	【歴史的分野】 第3章 「中世の日本」	武士の成長と清盛の政治。鎌倉幕府の特色。鎌倉時代の武士の生活。鎌倉文化、鎌倉新仏教。元寇と幕府の滅亡。建武の新政から南北朝の動乱。室町幕府の仕組み。土一揆、応仁の乱、戦国大名。室町文化。	武家政権が誕生して、武士の支配がしたいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解しよう。 モンゴルの襲来、倭寇、日明貿易など、この時代に東アジア世界と密接なかかわりが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを考えよう。

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	発問に対する解答の内容。資料の読み取り作成。定期テスト等。提出物やノートの内容等。資料の読み取り作成。発言の内容。
②	思考・判断・表現	課題に対する解答や発言内容。定期テスト等。提出物やノートの内容等。
③	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、発言。提出物やノートの内容、提出状況等。課題に取り組む態度。定期テスト等。

数学科 第1学年

1. 目標

- (1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。
- (2) 平面図形や空間図形について観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。
- (3) 具体的な事象を通して、比例・反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
- (4) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力、考えを伝える力を培う。

2. 学習計画と内容

学期	学習内容 (単元名など)	学習を進める上でのアドバイス
1	1 正の数・負の数 ・正の数・負の数 ・正の数・負の数の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数の意味を理解し、日常の事柄と照らし合わせながら正の数・負の数の必要性や有用性を知りましょう。また、自然数・整数などの数の範囲についても正確に理解しておきましょう。 ・正の数・負の数の加法・減法・乗法・除法の計算ができるようにしましょう。交換法則や結合法則といった法則をうまく利用し、工夫しながら四則計算を速く正確に計算できるようにしましょう。
	2 文字の式 ・文字を使った式 ・文字式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使って数量を表すことに慣れ、文字式の表し方にしたがって式を書き、書かれた式の意味を理解できるようにしましょう。文字式の文字に数を代入することによって、式の値を求めることができるようにしましょう。 ・文字式の項や係数を理解し、加法・減法・乗法・除法の計算ができるようにしましょう。また、数量関係を等式や不等式で表せるようにしましょう。
2	3 方程式 ・方程式 ・方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・等式の性質をしっかりと理解し、解を求める方法を身につけ、方程式を解けるようにしましょう。 ・実際の問題を、文字を含んだ等式を用いて能率的に処理し、問題を解決できるようにしましょう。
	4 変化と対応 ・関数 ・比例と反比例 ・比例・反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・比例・反比例を変化や対応のようすを考察することを通して理解を深めましょう。 ・比例・反比例を表・式・グラフなどで表し特徴を理解していく中で、具体的な事象の考察に利用できるようにしていきましょう。
3	5 平面図形 ・直線図形と移動 ・移動と作図 ・円とおうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形について用語の意味や表し方を学ぶことで理解を深めましょう。 ・図形の性質や移動について理解し、コンパスや定規を使って作図ができるようにしましょう。 ・円やおうぎ形の性質を理解し、弧の長さや中心角、面積を求めることができるようにしましょう。
	6 空間図形 ・立体と空間図形 ・立体の表面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> ・立体を見取図や展開図、投影図を用いて特徴や性質を理解できるようにしましょう。 ・立体を観察する中で、空間内における平面や直線の位置関係を理解しましょう。 ・立体と平面図形の間関係を理解し、立体の体積や表面積を求められるようにしましょう。
3	7 資料の活用 ・ヒストグラムと相対度数 ・データにもとづく確率	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを収集して分析し、資料の傾向を読み取り、考察し判断することができるようにしましょう。 ・多数の観察や多数回の施行によって得られる確率の必要性和意味を理解しましょう。

3. 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料 *復習テストも参考資料とします。
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の取り組み（発表・反応・宿題）など ○定期テスト
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の取り組み（発表・反応・宿題）など ○定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に取り組む態度、授業に対する意欲（発表・反応・宿題）など ○提出物（ノート・ワーク・レポート）など

理科 第1学年

1 目標

- (1) 生徒1人ひとりが目的意識をもった観察、実験を行うことにより、科学的に調べる能力を育て、科学的な見方や考え方を養う。
- (2) 日常生活との関連を図った学習を行う。自然環境と人間との関わりを重視した実験や観察を積極的に取り入れていく。

2 学習計画と内容

学期	学 習 内 容	学 習 を 進 め る う え で の ア ド バ イ ス
1	<p>【身近な生物の観察】 【花のつくりとはたらき】 【植物のからだのつくり、植物の分類】 【動物の分類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察のしかた、記録のしかたを身につける。 ・身近な生物の観察から特徴を見いだす。 ・特徴から分類し、種類を知る方法を身につける。 	<p>「主体的に学習に取り組む態度」植物のからだのつくりや、植物や動物のなかまに関する事象に積極的に関わらしましょう。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等」生物の観察、植物の体のつくり、植物や動物のなかまに関する事象・現象の中に問題を見だし、積極的に自らの考えを表現しましょう。</p> <p>「知識及び技能」ルーペ・顕微鏡の使い方、スケッチの方法など、練習を重ねて正しくできるようにしましょう。</p>
2	<p>【身のまわりの物質とその性質】 【気体の性質】 【水溶液の性質】 【物質の姿と状態変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験器具の使い方を身につける。 ・記録や分析のしかたを身につける。 ・物質の性質を調べ、固有、共通の性質を知る。 ・物質が起こす現象を粒子の振舞として考える。 ・物質を分離する方法を身につける。 <p>【光の世界】 【音の世界】 【力の世界】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光音力による現象を調べ、規則性を見いだす。 ・光音力による現象を身近な現象と関連付ける。 	<p>「主体的に学習に取り組む態度」物質の共通性と多様性に興味をもちましょう。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等」質量が変化するとき物質の出入りがあることを理解しましょう。</p> <p>物質が目に見えないくらい小さい粒でできていることを基本として現象を考えましょう。</p> <p>「知識及び技能」上皿天秤・メスシリンダー・ガスバーナーなどの使い方、ろ過・蒸留のやり方など、化学実験を適切な方法で行えるようになりましょう。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」光・音・力の正体と性質、それぞれが起こす現象などに興味をもちましょう。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等」光・音・力の規則性などについて自らの考えを導き、積極的に表現しましょう。</p> <p>「知識及び技能」光の進路の作図、振幅・振動数と音の関係の観察、力の表現方法などをたくさん練習してできるようになりましょう。</p>
3	<p>【火をふく大地】 【動き続ける大地】 【地層から読みとる大地の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火山の種類や特徴を理解する。 ・火山の形や噴出物、岩石などをマグマの性質と関連付けて考える力を身につける。 ・記録などから地震の特徴や仕組みを理解する。 ・自然災害への関心、防災意識を高める。 ・地層、岩石、化石の観察から大地の歴史を論理的に考える力を身につける。 	<p>「主体的に学習に取り組む姿勢」日本の地形に興味をもちましょう。火山活動や地震が地球上のどのような場所で起きる現象なのかに興味をもちましょう。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等」日本はプレート境界上に位置していることなどから、火山の噴火や地震などが起きやすい。その理由やメカニズムを考えましょう。地層や化石などから大地の歴史を推理できるようになりましょう。</p> <p>「知識及び技能」露頭（地層）の観察 ボーリング調査と地質柱状図の関連を知り、大地の様子を知ることができるようになりましょう。火山灰から鉱物を取り出す方法を身につけましょう。</p>

3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観 点	評 価 の 資 料
①	「知識及び技能」	定期テスト、授業内テスト、授業・実験への取り組み等
②	「思考力、判断力、表現力等」	実験レポートの内容、定期テスト等
③	「主体的に学習に取り組む態度」	実験レポートの内容、実験への取り組み、定期テスト等

音楽科 第1学年

1 目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を楽しく豊かなものにする態度を育てる
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創造的に表現する能力を育てる
- (3) 多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる

2 学習計画と内容

	学習内容(単元・節など)	学習を進める上でのアドバイス
1 学期	○校歌、青空へのぼろう (歌唱) ○春 (鑑賞) ○混声合唱曲 (歌唱)	○正しい姿勢や音程で明るく元気よく歌おう。 ○情景を想像しながら、ヴィヴァルディの曲を鑑賞しよう。 ○パート練習に協力して取り組もう。 ・正しい音程とリズムで歌えるようにしよう。
2 学期	○合唱コンクール自由曲 (歌唱) ○リズムドリル (創作) ○クラシックギター (器楽) ○赤とんぼ (歌唱) ○夏の思い出 (歌唱) ○魔王 (鑑賞)	○ハーモニーを意識して、響きのある声で合唱しよう。 ○音符や休符から音の長さを知ろう。さまざまなリズム、拍子を理解しよう。○ギターの音色をよく聴き、演奏しよう。 ○曲想と歌詞の内容との関わりを考えて歌おう。 ○詩と音楽の構成を学びシューベルトの歌曲を鑑賞しよう。
3 学期	○ブルタバ (鑑賞) ○箏「さくらさくら」 (器楽) ○卒業式に向けて「旅立ちの日に」 (歌唱)	○情景をイメージして音楽の特徴を捉えよう。 ○和楽器の音色をよく聴き、演奏しよう。 ○三年生への感謝の気持ちを表せるように、心をこめて力強く合唱しよう。

3 観点別評価について

	観点	評価の資料
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習、グループ練習や全体練習に対する積極性 ・実技テストの技能点数 ・定期テスト
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・美しく豊かな音色を目指し、表現を工夫しているか (プリントの記入内容) ・様々な音楽の特徴を意識して聴きとり、具体的な感想を述べることができるか (プリントの記入内容) ・実技テストの表現力の点数 ・定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備(チャイム着席・忘れ物の有無) ・意欲を持って学ぶ姿勢(聴く態度・挙手・発言・パート練習) ・パートリーダーとしての積極性(練習時の取り組み)

美術 第1学年

1 目標

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育む。
- (2) 対象を深く観察する力、感性や創造力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身につけ多様な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫し美しく表現する能力を育む。
- (3) 自然や美術作品などについての基礎的理解や見方を広げ、良さや美しさなどを感じ取る鑑賞能力を育む。

2 学習計画と内容

学期	学 習	学習を進める上でのアドバイス
1	○色の世界(平面構成) ステンシルで彩る	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの色や造形作品の色に興味を持ち、色の性質や感情を理解しようとしている。 ・技法や彩色に関心を持ち、楽しい文字や面白い文字を制作しようと意欲的に取り組んでいる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の性質や感情、色の組み合わせなどから自らの学習目標や表現のテーマを持っている。 ・幅広く発想し、伝えたい内容が伝わるよう十分に構想を練ることができる。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル絵の 具の特徴を理解し、適切な混色や塗り方が身に付いている。 ・材料や用具を選択し、自由に描いたり、装飾したり、工夫している。
2	○クロッキー 私、輝く瞬間 ～自画像への挑戦～	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー表現に関心を持ち、対象を深く観察し、意欲的に取り組んでいる。 ・自分の姿を見つめて感じ取ったことや考えたことを基に表現することに関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり、材料の特性を生かしたりしようとする。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でポーズを考え、空間での形の面白さを工夫している。 ・自分の姿を深く見つめ感じ取ったことなどを基に、主題を生み出し、創造的に構成を工夫し、表現の構想を練っている。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の使い方、クロッキーの描き方などの基礎的技能が身に付いている。 ・制作の順序や、彩色などを総合的に考え、見通しを持ち、対象を見つめ、丁寧に描いている。
3	○生活の中の美術 ～木材を彫る・削る	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工芸に興味を持ち、作品づくりを楽しもうとしている。 ・加工を丁寧に行っている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えた用途や機能などを考え、イメージに合わせて構想を練っている。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材や用具の特性や生かし方、使い方、つくり方などの基礎的技能を身に付けて表現している。

3 観点別の評価方法 (各観点の評価資料)

	観 点	評 価 の 資 料
①	【主体的に学習に取り組む態度】	・課題プリント ・授業中の態度、発問 ・適切な資料の準備
②	【思考力・判断力・表現力】	・作品における唯一点の発想、及び創意工夫(課題やテーマを踏まえた上での用具の使い方や形・色の見方、使い方など)
③	【知識及び技能】	・制作における用具の適切な使用の仕方や力加減など。

保健体育（中学1・2年）

1 学習のねらい

保健体育は、グラウンドや体育館・武道場などの体育実技と保健に関する学習を通し、課題解決能力と生涯にわたって、体力の保持増進と健康を維持する態度を身に付けます。また、実技教科なので、体を動かしての活動が基本です。

【目標】心と体を一体ととらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動を運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

《1・2年》

- ◇運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- ◇運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ◇運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。

2 学習の進め方

[1時間の授業では]

体育委員がリーダーとなり、用具の準備・片付け、体操・補強運動・二トロピ(自校体操)・集団走などを進めていきます。その後、本日のねらいの確認、内容に入っていきます。

[单元ごとでは]

- ① オリエンテーションにより、種目の選択や学習内容を確認する。
- ② グループやルールを確認し、練習やゲームの方法を学ぶ。
- ③ 実践を通し、個人や集団の課題を発見し、課題解決を図る。
- ④ 学習したことを自己評価し、課題解決の手立てを生涯スポーツや健康の維持に生かす。

3 評価の観点

- ◇運動や健康・安全への関心・意欲・態度〈運動に積極的に取り組み、健康・安全についての意欲的に学習しようとする態度〉
(例)・取組の様子(練習やゲームでの意欲)・出欠席・忘れ物・服装・提出物
- ◇運動や健康・安全についての思考・判断〈運動の仕方や取り組み方、組合せ方を工夫するとともに、健康・安全について考え、判断し、表現する力〉
(例)・学習個人カードの記録や内容・課題に沿った練習やゲーム、グループ活動の動き・安全への配慮
- ◇運動の技能〈運動の特性に応じた基本的な動きや技能〉
(例)・技能テスト(発表会など)・競技の記録・練習やゲームでの動き・
- ◇運動や健康・安全についての知識・理解〈生涯にわたって運動に親しむための理論及び健康・安全についての基礎的な知識〉
(例)・定期テスト・練習やゲームの進め方・ルールの理解

4 家庭での取組 一技能効果を高めるために一

- ・お風呂上がりに、毎日ストレッチをする。*ケガの予防となり、柔軟性も高まる。
- ・生涯にわたって健康を維持増進させるためにも、生活に運動を入れる。

(握力アップトレーニングのグーパーを20回×2セットや20分以上のランニングかウォーキングなど)

5 授業や学習に対するアドバイス

- ・欠席や見学が無く授業に参加することが大切です。
- ・忘れ物をせず、運動のしやすい服装(頭髪・クツつめなど)を心がけてください。
- ・どんなことでも全力投球で取り組む(力を出し切る・繰り返し何度でも練習する)。
- ・学習個人カードや振り返りのプリントをしっかりとめる。
- ・仲間と学び合い、応援したり、賞賛したりすることが大切です。

※第二東中学校の体育の合い言葉は『一生懸命はかっこいい!!』です。

6 年間の学習内容 ※感染症の関係や、天候などで学習内容が前後する場合があります。

1学期	学習内容		行事
4月	集団行動	授業の始め方、基本的な集団行動	身体測定 体育祭 学校総合体育大会
5月	新体力テスト	自分の体力を知る・向上を目指す	
5・6・7月	球技Ⅰ	ハンドボール	
	体育祭練習	二トロビ習得、集団走など	
6月中	水泳	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、	
	保健	(1年)心身の機能の発達と心の健康 (2年)健康と環境	
2学期			
8月	球技Ⅱ	バレーボール・ソフトテニス・卓球・バドミントン	合唱コンクール 新人体育大会 市内駅伝
9月	陸上競技Ⅱ	走り幅跳び	
10月	器械運動	マット・跳び箱	
11・12月	武道・ダンス	柔道・剣道・創作ダンス・現代的なリズムのダンス	
11月中	保健	(1年)心身の機能の発達と心の健康 (2年)傷害の防止	
3学期			
1・2・3月	球技Ⅲ	バスケットボール・サッカー・ソフトボール	
2・3月	陸上競技Ⅲ	長距離走	
2月中	保健	(1年)心身の機能の発達と心の健康 (2年)傷害の防止	

第1学年 技術・家庭科（技術分野）

1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目標としています。

2 学習計画と内容

	学 習 内 容	ア ド バ イ ス
前 期	【ガイダンス】 ・生活や社会における技術の役割について学習します。また、3年間で学ぶ技術分野の内容について説明します。	・さまざまな技術に気づくとともに、技術の素晴らしさを感じながら学習を進めていきましょう。
	【材料と加工に関する技術】 ・生活と社会を支える材料と加工の技術について調べる活動を通して、材料の加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて学習します。 ・製作品の機能や構造を考えながら、設計及び加工方法について学習します。 ・ものづくりの進め方を学ぶとともに、道具を正しく使いながら作品の製作ができるようにします。 ・なべしきの製作 ・ティッシュボックスの製作	・材料と環境とのかかわりを考えながら、使用する材料の選択ができ、その材料の適切な加工方法について覚えましょう。 ・使用目的を考えて構想を進めていき、製作品の設計ができるようにしましょう。 ・安全に注意しながら、正しい道具の使い方ができるようになりましょう。
	【生物育成に関する技術】 ・わたしたちの生活と生物育成とのかかわりについて学習します。 ・簡単な栽培実習を行います。 ・ミニトマトの栽培	・生物育成の意味とその技術の役割についてしっかり理解しましょう。 ・栽培に必要な正しい知識を理解し、実習できるようにしましょう。

3 評価の観点・資料・評価

【評価の観点】 次の3つの観点についてABCで評価します。 ○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 【評価の資料】 ・授業参加の様子 ・定期テスト ・実習の取り組み方 ・作品 ・提出物 など 【評定】 観点別評価を総合して、学期ごとに5段階で評価します。 また、1年間を通して3学期に5段階学年評価を行います。
--

技術・家庭科（家庭分野） 第1学年

1. 目標

- ・健康と食事の関わりについて理解させ、食生活を見直すきっかけをつくる。
- ・簡単な日常食の調理ができる。
- ・食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概要を知る。
- ・食品の品質を見分け用途に応じて選択できる。

2. 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
2	<p>ガイダンス（3年間の学習の紹介） 『中学生になるまで』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返り、中学生である自分と家族や家庭生活・地域との関わりについて考える。 <p>『食生活をよりよくしよう』</p> <p>1. 食事の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と食事の関わりについて理解させ、自分の食生活を見直すきっかけをつくる。 <p>2. 栄養素の種類と働き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養の特徴について考える。 <p>3. 食品の栄養的特質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品群別摂取量の目安を用いて中学生に必要な一日分の献立を考えられるようにする。 <p>4. 食品の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品の特徴を理解し、用途に応じて適切に選択することができるようにする。 ・食品添加物の種類や使用目的について知り、適切な食品の選択ができるようにする。 <p>5. 食生活の安全と衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全や衛生に留意し食品や調理器具などの適切な管理ができる。 <p>6. 簡単な日常食の調理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な日常食の調理ができる。 ・基本的な調理技術を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習の内容を把握しよう。 ・ここまで育ててくれた家族に対する感謝や家庭のはたらきや仕事を考えよう。 ・食事の役割を考え、健康を考えた食生活を実践できるようにしよう。 ・食品に含まれる栄養素の種類と働きについて、理解しよう。 ・一日分の献立作成ができるようにしよう。 ・食品の品質を見分ける方法を理解し、適切な選択ができるようにしよう。 ・食品添加物の種類や使用目的、安全性と問題点について考えよう。 ・基本的な調理技術を習得しよう。 ・食品や調理器具の適切で安全な取り扱い方を理解しよう。
3	<p>『豊かに楽しく食べる』 1 日常食をよりよくしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの食生活の課題 ・地域の食材を使った料理 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活を振り返り、問題点を考えてみよう。 ・「郷土料理」について学習し、調べたことについて発表しよう。

3. 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観点	評価の資料
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きについて理解することができる。 ・調理器具の適切な取り扱いを理解し基本的な調理操作ができる。 ・学習プリント・実習・テストなど
②	思考・判断・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活について課題をみつけ解決を目指すための工夫ができる。
③	主体的に学習に取り込む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に意欲的に取り組み学習した内容を家庭生活の中でも実践していこうとしている。 ・学習プリント・課題の提出など

グローバル・スタディ科 第1学年

1 目標

(1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養う。

コミュニケーションの能力のGOAL

○相手（話して、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考え方や思いを伝えることができるようにする。

○日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができるようにする。

2 学習計画と内容

学期	学習内容（題材名）	学習を進める上でのアドバイス
1	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットになれよう ・Classroom English ・辞書を引いてみよう ・友だちを作ろう ・Writing 単語・文の書き方 ・1-B の生徒たち ・英語のしくみ ・曜日と天気の言い方 ・・タレントショーを開こう 	<p>【文法事項】</p> <p>① be 動詞の肯定文、疑問文、否定文 ☆自分の名前を言い、相手の名前も言えるようにしよう</p> <p>② 一般動詞の肯定文、疑問文、否定文 ☆自分の好きなことや、ふだんすることを言えるようにしよう</p> <p>③ What do you~? / 複数形 ☆相手に何をするかたずねたり答えたりできるようにしよう</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理して、表現しよう ・英語のしくみ ・Our Project(あなたの知らない私) ・Power Up1 ハンバーガーショップ行こう ・Let' s Enjoy Japanese Culture ・The Junior Safety Patrol ・英語のしくみ ・季節・月の名前 ・The Way to School ・英語のしくみ③ ・道案内 ・店内放送を聞こう ・順番・日付の言い方 ・Research on Australia ・英語のしくみ④ ・話の組み立て方を考えよう ・英語でやり取りをしよう ・疑問詞のまとめ ・Our Project 	<p>【文法事項】</p> <p>④ This is~. / Where is~? / He is~. ☆友だちや身の回りのものを紹介したり、たずねたり答えたりできるようにしよう</p> <p>☆どこにあるのかたずねられるようにしよう</p> <p>☆身の回りの人について話せるようにしよう</p> <p>⑤ 一般動詞の3人称単数形 ☆ほかの人（1人）がすることについて言えるようにしよう</p> <p>⑥ Who is~? / When do you~? (5W1Hを使った疑問文) ☆人の名前などをたずねたり答えたりできるようにしよう</p> <p>☆ものごとを行う時をたずねられるようにしよう</p> <p>⑦ There is (are)~ / How do you~? ☆~がいる（ある）の意味や働きを理解しよう</p> <p>☆どのようにするかたずねたり答えたりできるようにしよう</p> <p>⑧ 現在進行形 ☆今、していることについて言えるようにしよう</p> <p>☆今、何をしているのかについて、たずねられるようにしよう</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・The Year-End Events ・英語のしくみ⑤ ・A Trip to Finland ・英語のしくみ ・文の内容を整理し、表現しよう ・Grandma Baba' s Warming Ideas! ・英語のしくみ⑥ ・Our Project ・絵はがきを書こう 	<p>【文法事項】</p> <p>⑨ 一般動詞の過去形（肯定・疑問・否定） ☆過去にしたことについて言えるようにしよう</p> <p>☆過去にしたことを尋ねたり、しなかったことを言えるようにしよう</p> <p>⑩ be 動詞の過去形 / 過去進行形（肯定・疑問・否定） ☆過去の状態について話したり、尋ねたりしよう</p>

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	定期テスト、小テスト
②	思考・判断・表現	定期テスト、パフォーマンステスト、小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	挙手や発言、コミュニケーション活動への取り組み、積極的に英語を使ってコミュニケーションをしよう・続けようとする態度・意欲、パフォーマンステスト、課題の提出等